

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/09/01号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



60ドル台前半で方向性を欠く

NY原油先物相場は、1バレル=63～65ドル水準をコアにほぼ横ばいの展開になった。ロシア産の供給不安が下値を支えたが、大きく買い進むような動きは限定され、明確な方向性を打ち出せなかった。ウクライナ和平に向けて各国の取り組みが強化されているが、その一方で、ウクライナとロシアの間では戦闘が激化している。ロシアはウクライナの首都キーウに対する攻撃を強化しており、米国や独仏はウクライナに対する軍事支援強化を決定している。また、ウクライナはロシア石油施設に対するドローン攻撃を繰り返している。

トランプ米政権はインドがロシア産石油を購入していることを理由に、インドに対する25%の追加関税を発動した。これによってインドの関税は50%に達する。インドが今後もロシア産石油の購入を続けるのか不透明感が警戒されたことも、原油相場を下支えした。ただし、現実には大規模な供給障害が発生した訳ではなく、需給緩和評価も根強く、安値圏で揉み合う展開に留まった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月22日時点）は、原油が前週比239万バレル減、ガソリンが124万バレル減、石油精製品が179万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

需給緩和見通しで戻り売り優勢も、ロシアとイラン産に供給不安

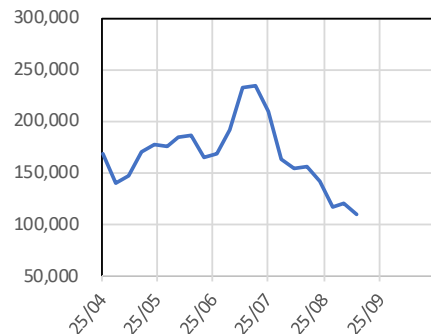
需給緩和見通しと供給不安が交錯するため、不安定な値動きが続きやすい。基調としては、需給緩和の値下がり局面が続く見通し。9月入りで北半球のドライブシーズンは終了に向かい、製油所も定期メンテナンスへの移行を進めることになる。需要期から需要端境期への移行が進むことに加えて、世界経済減速による需要鈍化も警戒される状況になる。一方、石油輸出国機構（OPEC）プラスなどの増産対応は続き、時間の経過とともに需給緩和と圧力は強まる見通し。何ら供給障害が発生しないようであれば、改めて60～65ドルのレンジで上値の重さを確認し、60.00ドルに迫る可能性もある。

一方で、供給不安が残されているため、短期的に突発的な上昇圧力が発生する可能性は想定しておく必要がある。トランプ米大統領は8月22日、2週間以内にウクライナ和平協議の方向性が出てくるとの認識を示していた。このため、今週中に和平協議に何らかの評価を下す可能性があり、仮にロシアが非協力的として追加制裁を科すような動きがみられると、供給リスクのプレミアム加算が促される可能性がある。

また、インドはロシア産石油輸入を理由にトランプ米政権から25%の追加関税を課せられたが、ロシア産の調達を抑制・停止するような動きがみられた際には、国際需給が混乱するリスクを織り込む形で60ドル台後半を試す可能性がある。

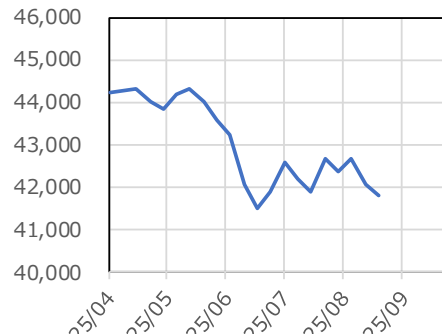
イラン核開発を巡って、欧州3カ国は、イランが2015年の「核合意」に違反したとして、制裁を再開させる手続きを始めている。米欧はイランに対して中断している米国との核協議に応じるように呼び掛けているが、イラン産原油の供給不安を高めるような動きにも注意が必要。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



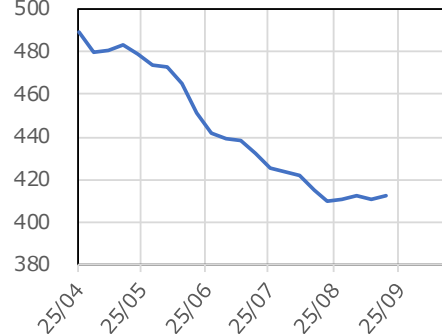
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

